

イエスさまがうまれた

(文) 水田 蕨

(ぶん) わきた あきこ



イエスさまがうまれた

(え) 永田 萌

(ぶん) わきた あきこ



ちいさな くに ユダヤの
ちいさな むら ナザレに、
マリアさまと ヨセフさまは すんで いました。
ある ひ、かみさまの みつかいが
マリアさまの ところに きて いいました。
「おめでとう。もうじき あかちゃんが うまれます。
イエスさまと なまえを つけて、
だいじに そだてて くださいね。」



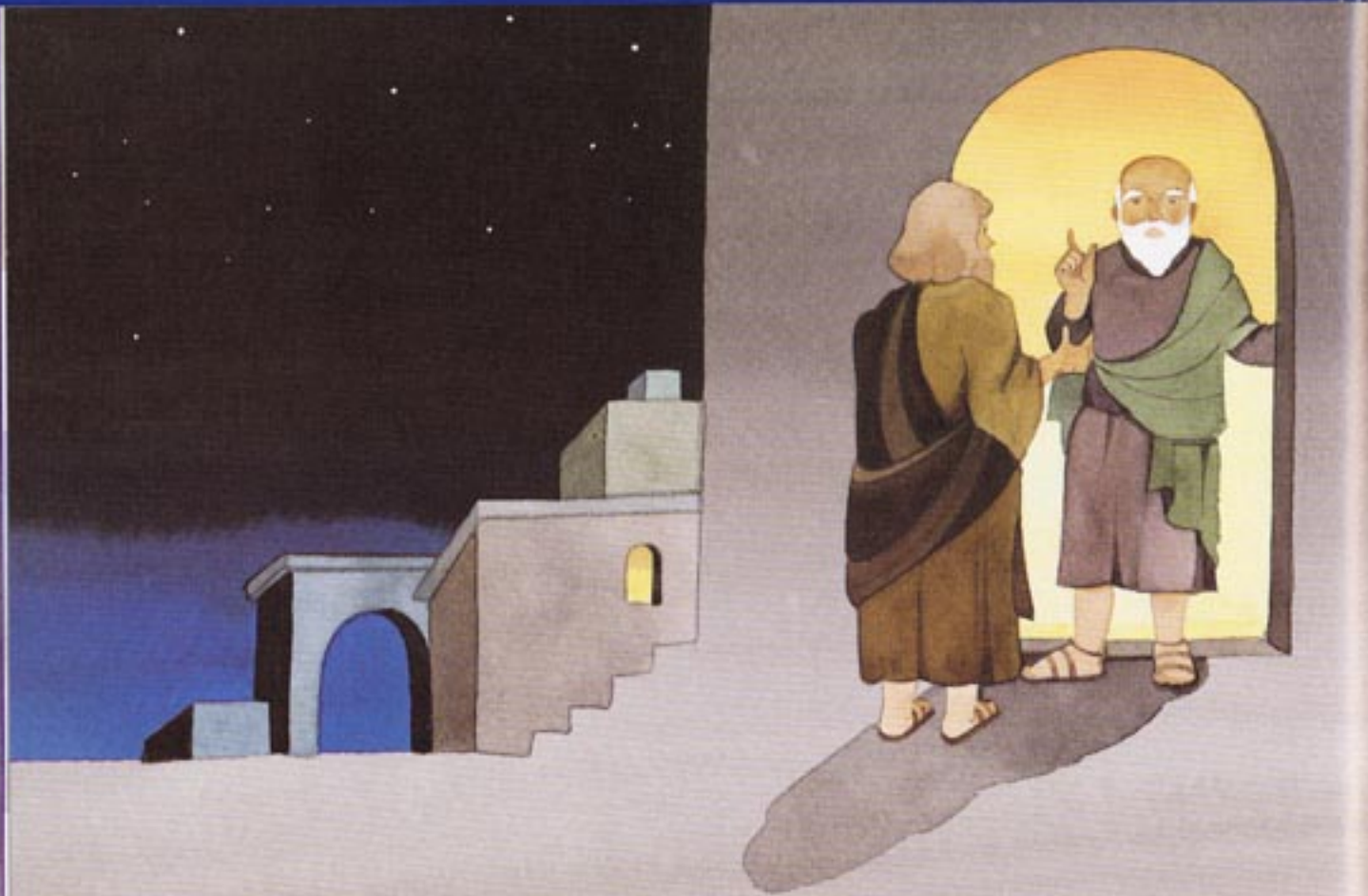


そのころ、くにじゅうに おうさまが めいれいしました。
「みんな うまれた まちに かえって
やくしよに なまえを とどけなさい。」
ヨセフさまの うまれた まちは、とおい みなみの ベツレヘム。
なんにちも かかる りょこうに でかけなければ なりません。
「おじに いって かえって これるかな。でも、
どこへ いっても かみさまと いっしょだね。」





どの まちも この まちも
りょこうしゃたちが いったり きたり。
もうじき あかちゃんが うまれそうな
マリアさまには とても くるしい
りょこうでした。



やっと ベツレヘムに ついた けど、
やどやは どこも まんいんで、どこの うちでも いいました。
「わるいけど、よそへ 行ってよ。」
おしまいに、とても つかれた マリアさまを みた ひとが、
「まちはずれに うまやが あるよ。
とにかく その ひとを やすませなきゃ。」
と 言って くれました。





ほしの きれいな ぼんでした。
しずかな まちはずれの うまやで
かみさまの みこ イエスさまは
おうまれに なったのです。